

補助金調査・評価シート [制度的補助]

補助金名等			
補助金の名称	コミュニティ施設整備事業補助金	No.	1
予算事業名	コミュニティ施設維持管理事業		
予算科目	款 02総務費	項 01総務管理費	目 11自治振興費
	節 19負担金補助及び交付金	細々節 01コミュニティ施設整備事業補助金	
部課名	市民生活部協働推進課	電話番号	049-251-2711 内線 258

補助金の根拠			
根拠条例等	条例		
	規則		
	要綱	富士見市コミュニティ施設整備事業実施要綱 富士見市コミュニティ施設整備事業補助金交付要綱	
開始年度	昭和 53 年度	終期の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有(22 年度まで) <input type="checkbox"/> 無
補助金の分類	<input type="checkbox"/> 事業費補助	<input type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> イベント等補助
	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的補助	<input type="checkbox"/> 扶助費的補助	

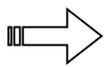
補助金の概要	
目的 (何を対象にどのような成果を得たいのか。)	市内各地域で展開されているコミュニティ活動の輪をより広げるため、地域住民の心のふれあいの場や身近な生活環境施設及びコミュニティ関連施設の整備事業を積極的に推進し、併せて地域環境を面的に整備することにより心豊かな地域社会の形成に資することを目的とする。 ※第4次基本構想 第6章市民と行政が共につくるまち、第2節コミュニティの推進／後期基本計画 コミュニティ施設の整備及びコミュニティ活動の支援
導入の経緯 (どうしてこの補助制度を導入しなければならなかったのか。)	地域の自治活動や住民同士のふれあいの場として市立集会所の整備要望が出されても、市の整備計画に、建設予定でない場合等もあり、これに対応する必要があったため。
対象資格 (対象資格はどのようなものか。)	町会または地域内の日常生活圏域における地域的団体（地区団体）
交付内容等 (どのような基準で交付しているのか。また、交付時の確認資料はどのようなものか。)	地域住民の日常生活圏域内の便益に供する施設や私道等の整備をする場合、または町会区域内の住民が公平に使用できる施設の運営を支援する必要があると認められる場合に補助金を交付する。 ※原則3/4以内の補助率（上限額の設定有）としている。 ※確認資料…事業の目的・計画内容、案内図、実施設計書、見積書、同意書、承諾書、現場写真 ※内規…富士見市コミュニティ施設整備事業実施要領
積算基礎 (予算額をどのように積算しているのか。)	平成22年度予算額 15,861 千円 申請前の事前協議を基に予算額を積算している。 上沢1丁目私道整備 4,500千円、上畑道場施設整備事業 627千円 鶴瀬西3丁目私道整備 10,000千円、馬場城側施設整備事業 518千円 鶴瀬西3丁目施設運営支援 38千円、羽沢1丁目施設運営支援 178千円

補助割合等	
補助割合等の明示	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 定額) <input type="checkbox"/> 無 (「予算の範囲」のみの場合を含む。)
財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 国・県・市 <input type="checkbox"/> 国・市 <input type="checkbox"/> 県・市 割合 市 国 県 (分数表示)
上乗せ・横出し	<input type="checkbox"/> 国・県の基準よりも拡充して交付している <input type="checkbox"/> していない
上乗せ・横出しがある場合の内容と金額	

交付実績とコスト		(単位:件・円)		
項目	平成20年度(決算)	平成21年度(決算見込)	平成22年度(予算)	
交付(見込)件数	3件	6件	6件	
交付(見込)件数の増減要因		—	—	
決算(予算)額(A)	1,220,300	3,197,800	15,861,000	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	その他	0	2,500,000	0
	一般財源	1,220,300	697,800	15,861,000
概算人件費(B)	213,057	598,464	598,305	
概算補助事業費(A+B)	1,433,357	3,796,264	16,459,305	
実績報告の確認(実績報告書受理時の確認資料は、どのようなものか。)	成果表、領収書、町会での総会資料(収支決算資料)、施工前・施工後の現場写真、預貯金通帳の写し			

事業環境等	
見直しの有無	<input type="checkbox"/> 有 (年度) <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※5年以内の見直しに限ります。
有⇒見直内容 無⇒見直さない理由	第4次基本構想及び後期基本計画においてコミュニティ施設の整備及びコミュニティ活動の支援が位置づけられており、特に見直しは不要と判断したため。

廃止した場合の問題点 (廃止した場合の問題点や継続しなければならぬ理由など)	地域住民のコミュニティ活動の推進や、自分たちの住む地域のことは自分たちで解決する地域づくりをしていくためには、その活動拠点となる集会所の整備や地域の私道の整備等が地域力を高めていくために不可欠と考えるため。
---	---

評 価			
評価項目		判断理由	評 価
必要性	社会経済情勢に合致し、行政の実施が望ましいか	地域のコミュニティ活動を推進するためには、集会所の積極的な整備・修繕が必要である。また、本来私道を整備するためには市に寄附採納をしていただき、市が責任をもって道路を管理していく必要のあるものだが、様々な要因によりこれを行うことができない場合もあるので、地域の環境整備といった点から市の支援は必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> そうでもない
優先性	厳しい財政状況の中で優先的に実施すべきか	少子高齢化を迎え多様な市民ニーズに的確に対応した市政を行うためには、地域コミュニティの推進と市民との協働が不可欠である。集会所の整備等は、市民主体のまちづくりを実践していく上で優先的に取り組むべき事項である。	<input checked="" type="checkbox"/> 優先すべき <input type="checkbox"/> 優先度が低い
有効性	目的に対して成果が出ているのか	地域のコミュニティ活動を推進するためにその活動拠点である集会所を整備・修繕してきたことは、ハード面の充実という観点から一定の成果があったと考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 成果が出ている <input type="checkbox"/> あまり出ていない
継続性	現状のまま継続して、当初の導入目的を達成できるか	集会所の利用率があまり高くないという事実があるため、これを向上させるための検討を行うことにより、更なるコミュニティ活動の活性化と市民参加・協働の推進を図り、導入目的を達成したいと考えている。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できる <input type="checkbox"/> 達成できない
所属長評価	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上継続  <input type="checkbox"/> 重点化する（コストを集中的に投入したい） <input checked="" type="checkbox"/> 制度の変更（補助対象経費・補助率の変更）		
	<input type="checkbox"/> 廃止（ 年度まで）		
見直しの上継続を選択した場合には、その内容を記入してください。その他問題点・課題等があれば、その内容を記入してください。			
市の財政状況並びに他市における補助金交付の現状に鑑み、担当課としては、私道整備に係る補助率4分の4を見直したい。			